

成果報告書

(地域文化倶楽部創設支援事業)

KOCHI中高生ミュージカル部

| | | | |
|-----------|--|-----|-------|
| 所在地 | 高知県高知市大膳町61番地奏ビル | 設立年 | 2021年 |
| 運営主体 | (株)千クリエイティブカンパニー | | |
| 事業目標 | <p>第44回全国高等学校総合文化祭(2020こうち総文)総合開会式開催地発表のオリジナルミュージカルにおける活動の成果を継承し、学校の枠を超えてた新しい形の部活動としてミュージカル活動のできる場(地域文化倶楽部)を創設する。</p> <p>学校単位では活動できない生徒のニーズに応えるとともに、専門的な講師陣の指導によってより質の高い活動の機会を確保し、生涯を通じて文化芸術に親しみ表現力、コミュニケーション力の育成などの自己成長を図る。</p> | | |
| きっかけ | <p>第44回全国高等学校総合文化祭(2020こうち総文)における総合開会式の開催地発表では、オリジナルミュージカルが発表され高知リトルプレイヤーズシアターの講師陣が指導スタッフとなって、県内各地から公募で集まった生徒たちの活動を支援してきた。</p> <p>しかしながら、2020こうち総文終了後、こうした活動を継続できない現状になった。高知県内の部活動には、ダンス・演劇・軽音楽・合唱等はあるが、総合的な活動となるミュージカル部はなく、この全国高等学校総合文化祭での成果を継承する受け皿がない状況です。</p> <p>それを受け今回、生涯を通じて文化芸術に親しむ態度の涵養を行うことに繋がると思い設立されました。</p> | | |
| 団体・組織等の連携 | | | |
| 活動場所 | <ul style="list-style-type: none"> ・高知リトルプレイヤーズシアター・高知市文化プラザかるぽーと ・県民文化ホール多目的室・高知県民体育館 | | |
| 活動概要 | <p>KOCHI中高生ミュージカル部は、高知県下の中高生で集まり劇団「SKY」を発足。地域の専門家による指導の元、月2回～3回程度の練習を重ねミュージカル作品を制作する活動を実施。地域の起業家、文化団体、教育機関の方々からなるサポーターズクラブも結成され、活動を見守ってくれている。</p> <p>令和4年1月9日に高知市文化プラザかるぽーとにて創作ミュージカル「ANDROID」を上演。追加公演も実現し、2回公演延べ220名の観客(コロナ対策により客席半数設定)の方に鑑賞いただけた。また配信もでき(http://youtu.be/sd2t4JFFjGO) 1年間の間、視聴できる。</p> <p>次年度への活動へ繋げようと準備を進めている。</p> | | |

○本事業による成果

従来の活動の成果のみではなく、本事業を実施したことにより得られた成果について記載すること。(数値やグラフで示すものがあれば望ましい)

令和4年1月9日(日)高知市文化プラザかるぽーとにて14:00～と17:00～の2回公演

アーカイブ <https://youtu.be/sd2t4JFFjGo>

添付資料① 活動報告 舞台終了後 劇団員とスタッフ アンケート

添付資料② 活動報告 活動終了後 アンケート

添付資料③ サポーターズによる評価

添付資料④ 観客の方及び保護者のアンケート

○児童・生徒への指導に関する工夫

指導を行う上で独自で工夫していることについて記載すること。

【指導者の工夫】

学校の枠を超えて集まったメンバーなので、まずはコミュニケーションを取りやすくする配慮をした。

初めの何回かのレッスンで、メンバーの個性を見て、脚本の構成上で関わる組み合わせを考慮して、スムーズにコミュニケーションを取れるようにした。

コロナ禍リモートレッスンを駆使して、中止やお休みがないように努力した。

【参加者への工夫】

活動がなるだけ参加者の自主性を発揮できる活動となるように、全員に役割を設け、部長、副部長、ダンスリーダー、ボーカルリーダー、広報、場ミリ(稽古準備)など、劇団員主体の活動となるようにした。また練習の最後には一日の振り返りをみんなでミーティングし、次回の練習につなげていった。

○運営上の工夫

運営上、工夫している点を記載する。

【地域等との連携】

社会、文化、教育の各分野に精通する地域の企業家や文化活動家から構成される「サポーターズ」を組織し本活動をサポート、成果発表公演の後には評価会を行い年度の活動・これからの継続的な運営に関して支援をしていただく。

【活動の情報共有】

ツールを活用し保護者の方も活動内容・稽古風景を見ることができ情報共有を行いながら透明性のある活動を行なった。

【ICTの活用】

コロナ禍においてZOOMの活用(ICT)をすることにより遠隔で稽古が行えそれぞれの学んだ技術知識を保ちながら安全に感染リスクの少ない稽古を行なった。

【活動経費】

メンバーから部費を徴収している。

○継続的な運営に関する課題・展望

活動場所、指導者、活動経費、教育機関や地域等との連携等、様々な観点からの課題と展望を記載する。

・稽古回数やスケジュールを再検討し、活動しやすい環境を整える。

・指導者は、継続して指導してくれる先生他に、新しい先生を加え、体を知るなど心身の基礎トレーニングになる企画を展開していく。メンバーがさらに自主性を持って活動できるような環境作りを行う。

・活動経費が一番の課題である。地域の「サポーターズ」メンバーとの連携を深め、より地域に根ざしたサポート体制を検討していく。

(協賛活動、まちづくりの一環として考えるなど新たな発想で、活動経費の捻出をしていく。)

・地域の文化施設及び教育機関(高知県高等学校文化連盟)との連携を図り、活動の場所を広げていく。

○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・計画

上記の課題をどのように解決し取り組んでいくのか、方針や計画を記載する。

- ・「サポーターズ」メンバーである、文化振興事業団、県民文化ホール事業課、藁工ミュージアム、高知県高等学校文化連盟や教育機関との連携をより一層行い、地域の文化振興に寄与する活動へと繋げる
- ・地域で活躍する新たな専門家と連携しワークショップの開催を企画したり、活動の場をミュージカルだけでなく広げていくことで、より多くの中高生の参加を促し、新たな活動の場を提供する。（舞台に関する制作、音響、照明、装置などの技術面にフォーカスした内容も盛り込み、さらに舞台芸術の研鑽に努める）
- ・高知県高等学校文化連盟との連携を図り、学生の活躍の場所を広げるとともに、参加者の成長を図るプログラムとなるよう検討していく。

※上記4点の記載の中に活動の画像を挿入してもよい。

※『地域移行(展開)を進める際のポイントチェックリスト』を参照すること。

| | |
|---------------|---|
| 参加者 (予定人数) | 高知県内の中高生15名 (中1:1名、中2:2名、中3:2名、高1:3名、高2:4名、高3:3名) |
| 募集方法 | チラシ配布による募集。高知県下の学校へチラシ配布の協力を依頼。 |
| 指導者 | 演出・演技指導者2名 ダンスインストラクター2名 歌唱指導2名 |
| 移動手段 | 保護者による送迎・自転車・公共交通機関 |
| 活動費用 | 指導者謝金 事務局運営 その他 舞台制作費・小道具・ホール使用料 等 |
| スケジュール | 月2~4回。基本的に日曜日の3~4時間 8月:コロナ対応としてZOOMを使いオンラインでの稽古 9~12月:9月中旬からZOOMでのオンライン活動から感染症対策を実施しながらの対面稽古に変更 1月:成果発表公演・評価会の実施 |
| 保険加入等 | |

※文化庁ホームページ:地域文化倶楽部(仮称)の創設に向けた検討会議 [事例集](#)を参照
掲載URL

(https://www.bunka.go.jp/shinsei_boshu/kobo/pdf/92801101_09.pdf)

※それぞれの項目に掲載しているのはあくまで例示ですので、掲載しているもの以外の観点等で自由に記載していただいて結構です。ただし、どこかの項目に学校の働き改革(教員の負担軽減)を踏まえた観点の記述を必ず入れていただきますようお願いいたします。(本事業の最大の目的であるため)

【活動の様子（写真添付）】



活動報告添付資料 ①

<公演終了後参加者の声>

- 約半年、皆んなと過ごせて楽しかったです。
- 怪我をしてダンスが踊れなかったのは残念だったが、自分の出来ることを精一杯やれたので良かったです。
- ミュージカルとか初めての経験でしたが、成功して良かったです。
- 人の輪に入って行けなかったり、歌やダンスも得意じゃないのに、皆が優しく教えてくれて有難うございました。
- 半年しかなかったけど、皆といっぱい喋って仲良くなったのが良かったし、個性的な役ができて楽しかったです。
- 中1から高3の集まりの中で自分は一番年上ですが、皆が話しかけてくれて嬉しかったです。無限のテイク数に付き合ってくれて有難うございました
- 最初は仲良くなれるか不安だったけど皆が優しく話しかけてくれて嬉しかったです。一つの作品を皆で作りに上げるのが楽しかったです。
- 要領の悪い私を先生方は見捨てなかったし、皆も助けてくれて有難うございました。コロナ禍で部活の大会等も無くなった中で、このような機会を設けてくださって有難うございました。zoomでは自分のネット回線が悪くてご迷惑をお掛けしました。
- 総文祭に引き続いてこのクラブが始まったと思いますが、またミュージカルに携われて嬉しく思っています。自分が体験できることを、ここで存分にやったと思っているので悔いは無いです。短い間でしたが、スタッフさんも先生方も手を貸して下さって本当に有難かったです。
- 最初、友達がいなくてここに来て、ひとりぼっちだったらどうしようと不安だったが、皆がすごく仲良くしてくれて声を掛けてくれた。今までやった事のないアンドロイド役で楽しかったです。欲を言えば、もっと皆でミュージカルを作って行きたかったです。幸せな半年間でした
- 半年間という短い期間でしたが皆と仲良くなれて楽しかったです。今まで演劇とかダンスとかやってきたけど、1番楽しかったです。卒業してら県外へ行きます。高知で最後の劇がここで良かったです。また演るときは県外からお手伝いとして参加したいです。
- 楽しかったです。感動したと伝えたいです。初めてのミュージカルでご迷惑をお掛けしました。最初は馴染めるか不安もありましたが、皆さんに包まれてここまで来ることができました。有難うございました。
- 皆んなと会えて本当に嬉しかったです。ミュージカルを辞めていたけど、また演れることができると本当に嬉しくて、毎回毎回の成果が積み上がって、自分ももっとやれるぞという気持ちが出て

て楽しかったです。

- リモートでやっている時は1対1で話すタイミングがなかなかなくて、画面上では顔も見えていたけど、本当に仲良くなれるかなあと不安だった。
実際に会うたら一緒にワイワイしてくれた。部活に引退があるように、今回も最後かなと思っていただけど、楽しすぎてまたやりたいと思った。
このメンバーと出会えて本当に良かったです。それぞれの得意な部分（ダンスや歌など）を補いあって作り上げたのが良かったと思いました。
- 総文に引き続き、有難うございました。初めての先生方も有難うございました。
このメンバーで出来たことが私にとって一生の思い出で、一生の宝物になると思います。
本当に有難うございました。

<指導&運営スタッフ>

刈谷公治（演出助手）...何を言っていていいかわからないけど感動して泣きそうです。

前日に袖に行った時に真っ暗だったのに、誰も文句を言わずやり通した事に感動しました。そしてご縁があったので、これから続けているうちにミュージカルのことで大人の力を借りたくなったら連絡してください。
ミュージカルを続けてくれたら嬉しいです。

山本幸雄（歌唱指導）...こんな短い間でミュージカルを作る経験をしたのは初めてです。

自分はクラシックの方なので、ミュージカルを一生懸命理解しようと、日々皆さんと一緒に試行錯誤しながら頑張っていました。一番感じたのは皆さんの心が成長したなと思いました。心が原動力なので、そこが成長して声に繋がったり動きに繋がるんだと感じています。感動させてもらって有難うございます。

杉本真佐美（歌唱指導）...皆さんから感謝の言葉をたくさんいただきましたけど、皆んなが申込書を書いて提出してくれなかったらこの事業は出来なかったの、私は皆さんに感謝しています。学校以外で知らない子たちとやるのは勇気がいったと思います。

申込書の志望動機を見せてもらったけど、凄く感動的なことがいっぱい書いてあったので、まずそれを見て感動しました。

千賀先生が最初に『なんとかなるさ』をテーマに言ってくれたけど、実際何とかせんと何ともならん訳で、皆が何かしたからこそこの成功だと思います。
最後までやり遂げることは貴重な体験なので、今後もキラキラと輝いていって下さい

濱田善久（演出）...最初から考えてみたら、『あれぐらいの回数しかない中でよくやれたな!』というのが本音です。こんな感じで色んなところから集まってやることを、ミュージカルではカンパニーという言い方で一つの会社のような捉え方をします。

誰か一人でも欠けたら困る。今回は初期で抜けた子はいたが、中盤以降は見事に最後まで我慢してやり遂げてくれた事に感謝です。一つの事を作るのは一人では出来ない。エネルギーが要る。

このメンバーで作品を作った楽しみや喜びを感じてもらえたコメントを貰ったので、それだけで自分は満足です。また機会があったらモノづくりを一緒にやりましょう。

田村千賀（運営）...話をいただいた時に直感で『これはやらんといかん!』と思いました。

その直感に関わってくれた講師陣や皆んなが参加してくれたお陰で出来た事業です。
有難うございました。

田邊美紀（運営）...いきなりリモートから始まったので、みんなの顔がなかなか覚えられなかったです。やっと覚えて、みんなの個性が分かった頃に終わってしまって寂しい。
お客様やサポーターズ様からのお言葉で『誰かが目立っているんじゃなくて一人一人の個性が際立っていた素晴らしい舞台だった』とおっしゃっていました。



令和3年度地域部活動推進事業及び地域文化倶楽部（仮称）創設事業
KOCHI 中高生ミュージカル部「SKY」

活動報告添付資料 ②

<活動全般終了後のアンケート>

<良かったこと>

- 交友関係が広がったこと。好きなものが同じ人と同じ熱量で一つの作品を作ることが出来るのがすごく楽しかったです。また、事前に何をやるかを伝えてくれるのがとてもよかったです。
- 中学～高校までのみんなでできたから、一つの学校の部活のように楽しんでできた！
- 毎回の練習が楽しかったこと。
- チームワークにより一つのものが仕上がるという経験ができたこと。
- 私がダンスや歌が分からなかった時に優しく先生や皆さんが教えてくれた事
- 再びミュージカルというものに全力で取り組むことができたこと。
自分の可能性を知れたこと。
- 本格的な指導を受けれたことと、活動する場を与えてくださったこと

- いろいろな学校の人と関わられたこと
- 他校で学年も違う人たちと交流できた。好きなこと苦手なことを自分たちで克服できた”
- みんなと楽しく練習できたこと。本番も楽しかった
- みんなと協力できた
- 沢山の経験が出来たことと皆と楽しくミュージカルが出来たことです。
- 学校とかも違うみんなが1つに集まって協力しながらできたこと。
コロナで実際に集まって出来ないってなった時にリモートというかたちで対応してくれたこととても楽しかったです！
- 色々な人と関わりを持つことが出来た
- <困ったこと>
- 自分も含めお休みが多かったこと。休日のお昼に長時間というのがなかなか他との予定を合わせづらかったです。
- 練習時間期間の短さももう少し、みんなと話して作って見たかった
- 自分が上手く出来ていないだろうなと思いながら練習したこと。（集中していなかった）
- はじめてのミュージカルでわからないことが多かったこと。
- 私が理解が遅い人だからか説明を受けても分からない事があった
- 休む人が多く、練習期間も短かったため余裕がなかったこと。
- 時間があまりなくて大変だった
- 練習に行けない回数が多かったこと
- オンラインレッスンでの振り付けの左右

<改善してほしいこと>

○時間曜日はこのままで、練習期間を伸ばして欲しい

○話の内容をもっと深くしてほしいです。

○もう少し 練習期間が欲しかったこと。

○もっとみんなでお互いのお芝居を見て意見を出し合えたらいいなと思いました。

○生徒同士での演技の改善点や、小道具のここに蓄光貼った方が正確に動けるなど、舞台を作っていく面でも生徒がもっと活躍出来たらいいと思った。



令和3年度地域部活動推進事業及び地域文化倶楽部（仮称）創設事業
KOCHI 中高生ミュージカル部「SKY」

活動報告添付資料 ③

<サポーターズによる評価>

* 「サポーターズ」は高知で活躍する起業家の皆様を初め、文化、教育の分野から人選構成され、この活動をより良い活動になるようにサポートする事を目的に集まって下さった皆様です。

株式会社高知新聞社 代表取締役 中平雅彦

学校法人龍馬学園 理事長 佐竹新市

三谷建設工業 代表取締役社長 三谷剛平

高知県立県民文化ホール 事業課長 濱口友章

藁工ミュージアム 学芸スタッフ 松本志帆子

(公財)高知市文化振興事業団 寺尾志保

WASHI+ 代表 浜田あゆみ

高知県高等学校文化連盟 会長 森本民之助

高知県窪川高校 校長 川田弘人

高知県立春野高校 教諭 西村和洋

(継承略)

佐竹 素晴らしい。感動しました。コロナ禍の中で練習が大変だったのではないかと、また違う学校から集まったメンバーでした。そんな中でも完成度も高かった。

よく声も出ていたし自分のポジションがはっきりしていて良かった。

見ても分かりやすく、一人一人が輝いていました。

総文祭で撒かれた種が目を出して成長していてしっかりした木になろうとしているように感じました。そのためにも産官学を超えて、この木の根が張り出しているところは地域の私達が支えていくことでさらにこの木が大きくなり森に育っていけるように支えていきたいと思っています。ここからが本当のスタート、大切ですね。みんなで支える土壌を作っていくことで高知の文化芸術のレベルが拡充していくのではないかと思います。

濱口 最初是一緒に見えたのですが、すぐにそれぞれのキャラが見えてきて、個性が際立っていました。ストーリーも頭で繋がっていて思いのほか完成度が高かったと思います。

心配なのは、1年生から3年生と限られているので、卒業したらここから先どうなっていくのかなと思いました。

川田 今日はみなさん思いっきり自分を表現できたのではないかと思います。

ラストシーンで子供たちが伸び伸びとやってる姿を見て涙が出て来ました。

このメンバーの中で、総文祭で軸になったメンバーが参加してくれていて本当にいい青春を送れたのではないかと思います。

一番心配するのは、コロナによるPTSD。自分の力と関係ないところで全てダメになるのでは？とそんな不安な気持ちを持ちながら過ごさなくてはいけないのではないかと。子供たちが育ったとき、今のような社会を子供たちが今後築いていけるのだろうかという不安がありそれは絶対ダメと思い、総文祭も中止をせずオンラインでも開催しました。

その状況は、今も変わりません。しかし、この状況下でも公演活動ができたことは、本当に

良かったと思います。

少しでもチャンスがあるならば、自分のやりたいことに挑戦してほしいと思います。今日の公演は、その一つの答えになる活動になっているのではないかと思います。

高知県ではこういう活動をやろうとするとなかなか一つの学校ではできません。なんとかこれを全体の動きにしていきたいと思います。

どうしていくかを考えていきたいと思います。サポーターズの皆様をはじめ支援者を増やしてやっていけたらと思います。

森本 よくこのタイミングで上演できました。これこそ天のくれた恵みのタイミングでした。

寺尾 最初すごく緊張していた子供たちもどんどん伸び伸びして最後ははっちゃけているのが感動的で心洗われました。表現をする人たちが集まると、時に軋轢も生まれてくるのに、違う学校の学生達が力合わせて一つの舞台を作るのは素敵なことだったと思います。

学校でそういうことができない人たちが参加できる場所が地域にあるのはとても意味のある事ではないかなと思いました。

できればどんどん広げていって、演じるだけではなく技術さんとか制作さんとかにも広げていって若い子供たちが育っていったらいいなと思いました。

松本 自分が通っている学校以外の生徒と交流をしながら、学校でできないものを作れる場があるのはとてもいいなと思いました。刺激を受けるしろんなところから学べて成長できる機会が素敵だなと思いました。

通し稽古を見せて頂いたのですが、その時は大丈夫かなと心配していたが、今日は表情もイキイキしていて良かった。観客の方も自然と拍手が出たり、涙ぐんだりしている方もいて良かった。裏方をやる人たちにも関わってもらえる機会があればいいな。学校で参加できない人たち、生活環境が豊かではない子供たちが参加できる機会もあったらいいなと思いました。来年の継続についてできることは考えていきたいと思います。

森本 学校でも働き方改革を考えていくと、地域でこういう場があるのはとても意味があります。また裏方さんたちの声が聞ける場面を作っていけないかと思います。

中平 最初は硬い感じで始まったのですが、笑顔で踊っているのを見てこれはよさこいがベースにあるのではないかと思いました。

それぞれ学校地域が違うということで大変だったと思います。

コロナのために、リモートが多かった。

文化活動を考えたとき、リモートも一つのツールとなるのではないかと思いました。

森本 総文祭もリモートでしたね。

川田 リモートは限りなく可能性があるな。リモートの様子も見せてもらったが、リモートでこれだけのことができるのかと思いました。歌のレッスン、踊りの振り下ろしもできた、演技のレッスンもできている。実技系のこともリモートでできるなと思いました。できないと諦めないでやれることを探すことが大切だと思いました。

寺尾 脚本と作曲は？

田村 最初に集まった時、どういうものをやりたいかなど子供たちから作品に対する意見や、どうしてこれに参加したかなどをラインでコメントを上げる形で聴きました。その中には、表現したいことがあるのにどうしていいかわからない、自分の殻を破りたいなどの話があり、それをもとに演出の濱田さんが脚本と音楽を作ってくれました。また、リモートレッスンの時に参加者の個性を見てこの子とこの子が組めばいいと考えて配慮してくれたりしました。

最後のセリフは学生さんが考えてくれました。

西村 このミュージカルを持続可能なことを考えていかないといけないですね。

田村 どうやって地域とコラボをしていくか。新しい形の企業協賛のあり方、芸術文化全体が支えられる形を皆さんと一緒に模索できれば嬉しいです。

佐竹 ここで成功例を作ったら四国全体でやりませんか。潜在的に参加したい方がいるのではないか、チラシだけではなくアーカイブを発信するなど考えてみてはどうでしょうか。

田村 学校にミュージカルを届ける事業ができれば、画期的で素敵なことではないかと思います。

川田 いいですね、市町村単位で総研をしてくれたりするのもいい。体育館でもできる作品だといいですね。

濱口 文化施設協議会というのがあるので、いくつかの会館はやりたいところはあると思います。あとは費用の問題ですね。

森本 経験したことによってどれだけ自分の価値が高まったかを大切にしていかないと社会貢献だけでは厳しくなるのではないかと思います。

寺尾 地域連携事業などもある。他県を間がなくてはいけないが、複数館共同で上演する企画に助成する女性もあるので、すぐではなく何年が先にそういうものに挑戦しても良いのではない

でしょうか。

森本 入場料はとっていった方が、緊張感と達成感が増すのではないだろうか。
今参加したメンバーが友達に良かったと話してもっと集まるようになるといいと思います。

西村 総文祭の内容を踏襲しているように感じました。
舞台上上がった生徒は、自信のある生徒もいるし、自信のない生徒もいる。
いろんな生徒が自然といるのが、とても良かったと思います。
演技経験者もいたし、未経験者もいたのに、よく短い時間で出来上がりましたね。

川田 同じ作品をず〜とやっていくことにも意味がある。そういう形でやっているところもある。
演じる方も見る方も一つの作品を深めていくという面白さがある。

濱口 卒業しても、ぜひ続けてほしいと思います。

松本 それぞれの方の個性が際立っていたのが良かったです。
自主的にリーダーを作って自分たちで活動できたからそれが実ったのではないかと思います
一度は東京へ出て高知へ帰ってきて活躍してほしいと思います。

寺尾 同じことを続けなくてもいいけど、みんなで一つのものを作り上げてきたものを発表することの楽しさを忘れずに次に活かしてほしい。それを自分たちより下の人たちに伝えてほしい
と思います。

中平 このシーンは笑いをとるシーンもあったが、舞台側も緊張していたのか、笑いをとりにいく
シーンがあったらいいのではないかと思います。
1フレーズ、これはという残る言葉があったらなお良かったかなと思いました。

森本 言葉がとても聴きやすかった。年齢差がありながら、先輩が後輩を大切にフォローしている
のが見えたので、良かったと思います。



(いよいよ舞台へ向かうメンバーたち)

令和3年度地域部活動推進事業及び地域文化倶楽部（仮称）創設事業
KOCHI 中高生ミュージカル部「SKY」

活動報告添付資料 ④

< 来場のお客様のアンケート >

- 皆さんの表情が良かった (46 歳 男性)
- MIRAI の感情が徐々に豊かになっていくところが良かった (13 歳 女性)
- 素晴らしかった。皆さんの声が良かった。元気をいただきました (69 歳 女性)
- 表情豊かでどの人を見ていても楽しかった。(18 歳 男性)
- 有観客で行って下さりありがとうございました。(44 歳 女性)
- 色々な学校から学年も違う生徒が集まって一つの舞台を作ること、とても大変だったと思うけど、子どもたちにとって素晴らしい経験ができたと思うので今後もぜひ！ (女性)
- 続けていければ大きく育つのでは (女性)
- 出演者の皆さんが元気一杯歌い踊られる姿に本当に感動しました。このエネルギーがあれば、何事でも突破できます。(女性)
- 中学・高校で素敵な仲間と出会えて、自分の夢は何か？なりたい人間は何か？とかいろいろ悩んだり考える機会もあるだろうなと思います。続いて行ってほしいし、高知の日本の文化を進化させるきっかけになりそうだなと思いました。(39 歳 女性)
- 若い人たちが演劇を通して一つの物を作り上げて発表するという場があることは素晴らしいですね。また違う学校学年が集まってする事もいいですね。(60 代 女性)
- 久しぶりに感動した。やっぱり生はいいね。(73 歳 女性)
- ストーリーに最初わかりずらいところもあった。(25 歳 男性)
- 男子も入ったらいいですね。人が増えたら長編でやってほしいです。

現実ばなれした学生じゃない作品もやってみてほしいです。(女性)

○すごくいい取り組みだと思いました。一人一人が本当に楽しそうで、見ている側にもそれが伝わりすごく楽しませてもらいました。

感動して鳥肌が立ち涙が出そうになりました。(39歳 女性)

○拍手が少なくミュージカルを見慣れてない方が多かった様で定期的に演ずる事ができるといいですね。(60歳 女性)

<保護者へのアンケートより>

○キャスト一人一人にとってかけがえのない経験になったと思います。

さらにこのうねりが県内で広がっていくことを期待します。

支援の組織も立ち上げたいですね。

○複数の学校が集まり、練習も厳しい中でレベルの高いミュージカルを見せていただきありがとうございました。今後さらに発展することを期待します。

○学校を超えての取り組みで、コミュニケーション能力を高める良い機会だと思います。

お互いの個性、力量を認め尊重し合いながら作りだすことができるプロセスで子供たちが成長できる場だと感じます。

○働き方改革の取り組みの一例ということで大変興味深く感じました。

先生たちの部活促事負担が軽減されるとともに、地域の文化活動に有益で良い取り組みだと思っています。

○SKY 旗揚げ公演大成功、おめでとうございます。

このような素晴らしい企画に参加させて頂き、また大変な状況の中、子供たちを全面的に支えて下さった関係者の皆様に感謝申し上げます。

感激して下さった方や配信を見て下さった方から続々と感動したと大反響をいただいています

<高知新聞にも取り上げて頂きました。>

高知市 県内中高生がミュージカル 表現する喜び伝える



表情豊かに演じる生徒たち（高知市のかほり）

県内の中学生によるアンドロイドのミュージカル「OCCH」が、高知市で10日、高知市文化プラザで上演された。15日からの公演も、表現する喜びを、観る者へ伝える。15日からの公演も、表現する喜びを、観る者へ伝える。

10日、高知市文化プラザで上演されたミュージカル「OCCH」は、15日からの公演も、表現する喜びを、観る者へ伝える。

熱演は1時間余り続いた。主演を務めた学芸大の学生は、高知市出身の藤原和奏さん（16）は、「みんなが一生懸命に演じてくれた。観る者の心を動かすことができた。学校も学年も違うけど、強い絆ができた。」（浜田悠伽）



「タコの山」に登り風景を楽しむ参加者（芸西村西分甲）

60人「タコの山」初登り楽しむ。芸西村の「タコの山」に登り風景を楽しむ参加者（芸西村西分甲）。

- 休日 当番医**
- ◆田野町 田野病院 (0887-38-7111)
 - ◆安芸市 安井町・宇部宮内科 (0887-32-0500)
 - ◆香南市 野市町・おひさま こどもクリニック (0887-57-8880)
 - ◆高美市 山佐山田町・安岡クリニック (0887-52-5626)
 - ◆南国市 大城之・藤原病院 (088-863-1212)
 - ◆高知市 休日夜間急患センター (内科9～12時・小児科13～17時・18～22時) =088-875-5719 歯科保健センター (9～12時=088-824-7852)
 - ◆いの町 とんぼクリニック (088-879-0222)
 - ◆須崎市 緑町・須崎くろしお病院 (0889-43-2121)
 - ◆四万十町 見付・くぼかわ病院 (0880-22-1111)
 - ◆四万十市 中村一栄通・佐々木整形外科 (0880-34-7177)
 - ◆宿毛市 中・大井田病院 (0880-63-2101)
 - ◆土佐清水市 天神町・松谷病院 (0880-82-0001)
- 【精神科】 県精神科救急情報センター (0120-556-499「こころよ救急」)。必要に応じて当番医(高知市・細木病院)こちらのセンター